

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公開番号】特開2006-258697(P2006-258697A)  
 【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-038  
 【出願番号】特願2005-78916(P2005-78916)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 21/84 (2006.01)

G 0 1 N 21/958 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/84 E

G 0 1 N 21/958

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年3月17日(2008.3.17)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

基板に光を照射して観察者が外観検査を行うために用いられる基板検査装置であって、前記基板の表面を前記観察者に向けて配置したときに、前記基板の背面側に配置される投光機と、前記投光機から前記基板に発散光を照射する際に、この光を散乱させつつ透過させる散乱部材とを設けたことを特徴とする基板検査装置。

【請求項 2】

前記散乱部材は、前記基板を吸着保持する基板ホルダの背面に取り付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の基板検査装置。

【請求項 3】

前記散乱部材を、前記基板と前記投光機との間の光路上に挿脱させる挿脱手段を有することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の基板検査装置。

【請求項 4】

前記挿脱手段は、前記散乱部材を巻き取る巻取装置を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の基板検査装置。

【請求項 5】

前記挿脱手段は、前記散乱部材の両側部を摺動自在に支持するとともに、モータ駆動によって前記散乱部材を移動させる移動機構を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の基板検査装置。

【請求項 6】

前記挿脱手段は、前記散乱部材の両側部を回動自在に支持するとともに、モータ駆動によって前記散乱部材を移動させる回動機構を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の基板検査装置。

【請求項 7】

前記散乱部材は、透過型の液晶板からなり、前記散乱部材への電圧の印加を制御する制御装置をさらに設けたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の基板検査装置。

【請求項 8】

基板に光を照射して観察者が外観検査を行うために用いられる基板検査装置であって、

前記基板の表面に光を照射してマクロ照明を行う第 1 の投光機と、  
前記基板を回動させる回動手段と、  
前記基板を中心として前記観察者に対向するように前記基板の背面側に設けられ、前記基板の背面から発散光を照射して透過照明を行う第 2 の投光機と、  
前記透過照明を行う際に、前記第 2 の投光機からの発散光を散乱させつつ透過させる散乱部材と、  
を有することを特徴とする基板検査装置。

【請求項 9】

前記基板を保持する基板ホルダをさらに有し、  
前記回動手段は、前記基板ホルダの両側に設けられた回動軸と、前記回動軸を支持する一対の支持部を有し、前記回動軸を中心として前記基板を水平状態から傾斜するように回動させることを特徴とする請求項 8 記載の基板検査装置。